

【スーパー讃岐っ子育成事業とは】

将来、日本や世界で活躍し、夢や感動を与えることができるアスリートの育成を目指す事業です。香川県内の小学4、5年生を対象に、書類審査や体力測定により優れたスポーツの素質を有する子どもたちを発掘し、関係団体と連携・協力を図りながら、専門的な指導者によるさまざまな育成プログラムを行います。中学生になったスーパー讃岐っ子はシニア事業に参加することになります。

(参照) "スーパー讃岐っ子育成事業について". 香川県教育委員会.

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/hokentaiiku/taiiku-sports/sports/sanukikko.html>, (2024/3/22).

【四国学院大学と香川県による包括連携・協力に関する協定】

2013年度に、本学と香川県は包括連携・協力に関する協定を締結致しました。

この協定は、双方が有する人的・物的・知的資源を連携・協力して活用することにより、地域課題の解決を図り、個性豊かな地域社会の形成および発展に寄与することを目的としています。

本学と香川県は、これまでも様々な事業に連携して取り組んできましたが、この「スーパー讃岐っ子育成事業」においても協定に基づき、本学の教員（専門分野：スポーツ科学）が、スーパー讃岐っ子育成委員会の委員として専門的な知見を活用し、スーパー讃岐っ子の選考、スポーツ体験プログラムや育成プログラムの内容、実施体制の検討、事業成果の検証等を通じて、この事業の運営に協力しています。

また、この教員が担当する本学の全学部・学科で履修可能な授業「フィールド・プラクティカⅢ(ベースボール実践演習Ⅲ)」の受講学生は、スーパー讃岐っ子の選考会において投・走・跳動作の測定補助実習が設定されており、自ら主体的に課題を設定し、調査、考察を重ねることで、実習をより円滑に実施し、地域課題の解決を図ることを目指しています。



14期生

【第16回】令和6年1月20日（土）18:00～20:00 「四国学院大学」

【栄養学Ⅱ・担任プログラム（棒高跳）】 スーパー讃岐っ子育成委員 漆原 光徳先生 他



2024年最初のプログラムは、「栄養学Ⅱ」講義と担任プログラム「棒高跳」を実施しました。講義では、四国学院大学の漆原先生から「すっぱいものや苦いものも食べられますか？すべての食べ物に栄養があるので何でも食べよう」「プロ選手は運動時、お水やお茶など糖分のないものを飲んでいる」など、食事の重要性やその理由について、様々な例を交えてお話いただきました。

後半は、清水先生と中野の専門種目である「棒高跳」を体験してもらいました。競技で使う「棒」の長さや感触を知ってもらい、補助台を使用して棒の「しなり」も感じてもらいました。慣れてくると、体を「ふわり」と浮かせて1mほどのバーをクリアする讃岐っ子が続出！ジャンプの感触を共に話しながら、にぎやかにトライしてくれてとても嬉しかったです。

15期生

【第10回】令和6年2月10日（土）18:00～20:00「四国学院大学」

【ユニホック・カローリング／栄養学Ⅰ】四国学院大学 漆原 光徳 先生



第10回プログラムは、四国学院大学の漆原光徳先生による栄養学Ⅰとユニホック及びカローリング体験を行いました。

まず、保護者の方と一緒に讃岐っ子も漆原先生の講義を聞きました。朝食の効果や心の重要性をおっしゃられていました。例えば、「あいさつをすること」「時間に遅れないこと」「友達（うまいかない人）の気持ちがわかること」を強調されていました。

そのあと、鬼ごっこなどでウォーミングアップをしたあと、ユニホック・カローリング体験をしました。あまり経験したことないスポーツでしたが、上手になるために熱心に練習をしていました。またゲーム形式では、お互いにどうすればうまくいくかを話し合っている様子が印象的でした。